

実習指導計画

実習指導教諭

㊦

実習生氏名

㊦

20xx年 ○月 ○日 (△)		場所	図工室
主な活動 (題材)	土粘土でクラスのまちをつくろう	実習 クラス	第1学年 2組 男児(14)名 女児(16)名 計(30)名
児童の姿 (前日までの 児童の姿を 多面的に捉 えて書く)	・小学校生活にも少し慣れ、活動的な学習に対して、好奇心をもって取り組む児童が多く見られる。絵を描くことが好きな児童が多く、ほとんどの児童が図工の授業を楽しみにしている。友達の実演に対しても肯定的な言葉が飛び交う様子が見られるが、一方で、なかなか自分の表したいことを決められず、時間内に終わらない児童も見受けられる。	題材の 目標	・手や足などを通して土粘土の感触を味わい、並べたり積んだりするなど工夫して表すことを考える(知識及び技能)。 ・土粘土の形をもとに造形的な活動を思い付き、自分のイメージをもち、作り方などについて考え、自分の見方を深める(思考力、判断力、表現力)。 ・友達と共通の目的をもちながら、作り出す喜びを味わい主体的に取り組む(学びに向かう力、人間性)。
時間	学習の流れ	教師の動き掛けと支援・留意点	評価
5分 (5)	1 本時の学習のめあてをつかむ。 ○就学前時の粘土の経験を使い出し、本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">土粘土でクラスのまちをつくろう</div>	※座り方は、サブシートを参照。 ○これまでの幼稚園、保育所で、粘土の経験があるか、どんなモノを作ったかを思い出させる。 ○大型の収納ボックスに土粘土を大量に入れておき、児童が注目してから見せる。 ○土粘土の塊(5キログラム程度)を取りに来させる。 ○粘土の硬さを確かめさせるため、持ち上げて落とす、足で踏むなど、実演して行為を促す。	○学習のめあてをつかむことができたか(観察)。
10分 (15)	○土粘土で団子をたくさん作る。 ○できた団子を近くの友達と見せあい、数を述べる。	○ウォーミングアップとして、「団子をたくさん作ってみよう」と呼びかけ、作らせる。 ・「何個できたかな?」と問いかけ、数を発言させるなどして、活動に意欲をもたせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【知識、技能】 土粘土の特性について気づいている(知識)。 活動を工夫している(技能)。 (対話、観察、画像)</div>
10分 (25)	○団子を積み上げていく。	○「できた団子を積んで、できるだけ高くしてみよう」と呼びかけ、作らせる。 ・タイマーをセットして3分くらい時間を計り、土団子を高く積んでいくゲームをする。	
20分 (45)	○積み上げた団子を変形させ、家を作る。	○「では、粘土に慣れてきたところで、いよいよまちを作ってみよう。まず、それぞれ自分が住んでみたい家を作ってみよう」と呼びかけ、建物を作らせる。 ・「どんな家に住んでみたいかな?」「お城かな? シンデレラ城?」など、児童が想像し、自由なイメージで製作が発展していくように声をかける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【思考力、判断力、表現力】 土粘土の感触をもとに、自分のイメージをもって造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考え、作り、自分の見方や感じ方を広げている。 (対話、観察、画像)</div>
~10分~	~休憩~		
20分 (65)	○ひもを作り、近くの友達の作品とつながるようにしていく。	○「みんな面白い家ができてきましたね。では近くの友達の家に遊びにいけるよう、粘土で道路を作ってつなげていきましょう」 ・粘土をひも状にするしぐさを実演し、活動を促す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【学びに向かう力、人間性】 作り出す喜びを味わい楽しく土粘土で造形遊びをしている。友達の作品に興味をもって鑑賞しようとしている。 (対話、観察、画像)</div>
10分 (75)	○鑑賞をする。	○「クラスのまちができましたね。素晴らしいです。教室を回って、どんな家があるか観ていきましょう」	
15分 (90分)	○片づける。	○「粘土をまとめて、収納ボックスに戻しましょう」 ・片づけをさせる。 ・水道で手や足を洗わせる。	
自己振り返り・評価等			